

その時、
3人の若者が
乗ったのは
運命の列車だった。

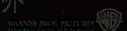
クリント・イーストウッド監督作品

15時17分、パリ行き

これは、誰の日常にも起きる現実。

ワーナー・ブラザーズ映画提供

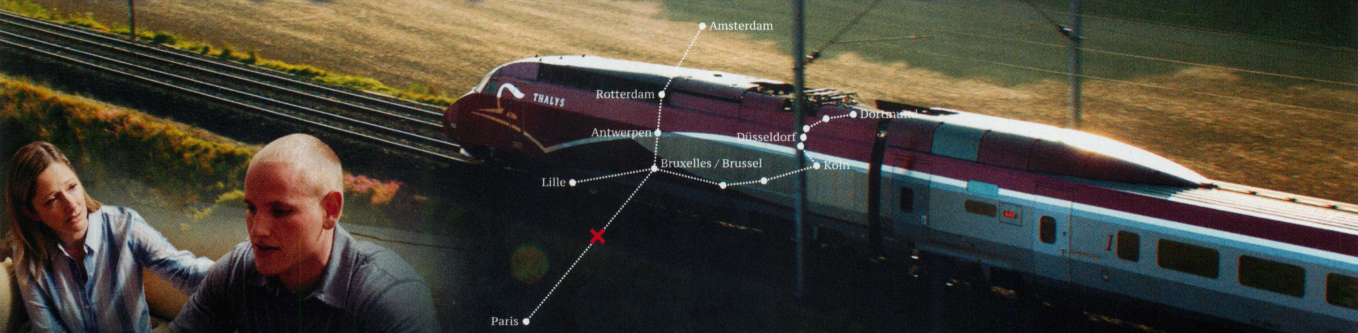
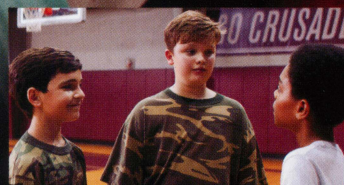
ピレッジ・ロードショー・ピクチャーズ提供 マルバノ制作 "THE 15:17 TO PARIS" 音楽クリスチャン・ジェイコブ 衣装デボラ・ホッパー 編集ブルー・マーレイ
美術ケビン・イシオカ 撮影トム・スターン A.F.C. A.S.C. 製作総指揮ブルース・バーマン 原作アンソニー・サドラー アレク・スカラトス スペンサー・ストーン AND ジェフリー・E・スターン
脚本ドローシー・プリスカル 製作ティム・ムーア p.g.a. クリスティーナ・リベラ p.g.a. ジェシカ・マイヤー p.g.a. 製作/監督クリント・イーストウッド



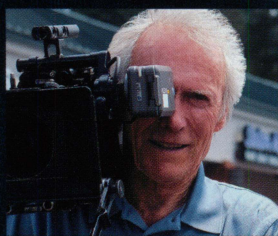
3.1(木) 実話



無差別テロに直面した、3人の幼なじみ。 彼らはなぜ“テロ”に 立ち向かうことができたのか？



“こんなイーストウッド映画観たことない!”

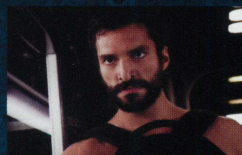


『アメリカン・スナイパー』『ハドソン川の奇跡』とリアルヒーローの真実を描き続けてきた巨匠クリント・イーストウッド監督の最新作にして新境地。

2015年に起きたパリ行きの特急列車内で554人の乗客全員をターゲットにした無差別テロ襲撃事件。極限の恐怖と緊張感の中、武装した犯人に立ち向かったのは、ヨーロッパを旅行中だった3人の心優しき若者たちだった。なぜ、ごく普通の男たちは死の危険に直面しながら、命を捨てる覚悟で立ち向かえたのか？

本作では、なんと主演は“当事者本人”という極めて大胆なスタイルが採用された。実際の事件に立ち向かった勇敢な3人がそれぞれ自分自身を演じている。さらに乗客として居合わせた人たちが出演し、実際に事件が起こった場所で撮影に挑んだ究極のリアリティーを徹底追求した前代未聞のトライアル。我々はこの映画で“事件”そのものに立ち会うことになる。まだ誰も踏み入れたことのない新しい映画の可能性。87歳を迎えても尚、新たな挑戦を続けるトップランナーは、いつ、どこでテロに直面してもおかしくない今、我々誰もができること、必要なことを提示する。当事者の目線から今の時代を生きる私たちすべてに問いかける真実と現実。

「この映画はごく普通の人々に捧げた物語である。」——クリント・イーストウッド



最新予告で圧倒的リアリズムを体感! これを見たあなたは、今から乗客の1人になる▶

3月1日(木)実話 全国ロードショー

原作: 115時17分、パリ行き!
著: アンソニー・サドラー、アレク・スカラトス、
スベンガー・ストーン、ジェフリー・E・スターン
訳: 田口俊樹、不二淑子 / ハヤカワ文庫



1517toparis.jp

#15時17分パリ行き

@warnerjp

warnerbros.jp

ワーナーブラザーズジャパン